

KARUIZAWA ROTARY CLUB



2020-2021年 RI テーマ

例会日 毎週月曜日 12時30分～13時30分

例会場 軽井沢プリンスホテル ウェスト

事務局 〒389-0112 軽井沢町中軽井沢9-3 軽井沢町商工会館内

TEL 0267-46-4970 FAX 0267-46-5445

RI 会長 ホルガー・クナーク RI2600 地区ガバナー 成田守夫

東信第一グループガバナー補佐 相馬徳太郎

会長 大工原巧 幹事 今井亮 クラブ会報委員長 森和成

E-mail k-rotary@jfbf.net ホームページ www.karuizawarotaryclub.com



ロータリーは機会の扉を開く

第2554例会 2020.11.9

12:30 点鐘 会長 大工原巧君 司会進行 副幹事 上田直人君
ロータリーソング「四つのテスト」 ソングリーダー 干川慎一郎君
ゲスト 成田守夫様、相馬徳太郎様、下形眞生様（上田西RC）
山際隆弘様（佐久コスモスRC）
ビジター 今井忠君（東京臨海RC）、山口登君（ハワイ ワイキキRC）



《会長あいさつ》 会長 大工原巧君

秋も深まり、もう秋と言うシーズンも過ぎ、冬の足音が近付いて来た今日この頃でございます。本日は成田守夫ガバナーをお迎えしての例会でございます。

成田ガバナーは長野医療衛生専門学校、長野救命医療専門学校、学校法人成田会の理事長さんでございます。そして上田西RCのご出身でございます。日頃大変お忙しい中でガバナー職をされておりますが、今日は皆さんの前で色々とお話をして頂きます。

先日11月3日の日、この千曲川流域の昨年の台風19号の影響で被災をした方々に対しまして、千曲川流域12市町村、30か所に及ぶエリアで花火を上げました。復興で苦労している皆さんに対して応援と激励とこれからはますます前向きに進んで行って頂きたいという事で、花火を上げて頂いたという事がありました。実際に災害を受けた方々にしてみますと、非常に大変な事を迎えている中で、もう一年が経ちますけれど、まだ災害復興にまでたどり着いていないと言うそんな状況でございます。

ここで2600地区の会員数の推移をお話しさせていただきます。2020年7月現在の会員数1,903名でございます。7月末日までの入会者数は38名、退会は3名で、実際の増加は35名という事で、1,938名となっております。各クラブ、少人数のクラブもございますけれど、実際に例会の開催数は少ないところで月1~2回、一番多いクラブは月4回の例会をやっており、53クラブございますけれど、約28クラブは月4回と言う事で対応しております。まだまだ会員さんの数が少ないと言われている状況でございますので、是非、会員増強の方も皆さんのお声がけで進めて行きたいと思っております。宜しくお願ひ申し上げます。



《幹事報告》 幹事 今井亮君

★ガバナー成田守夫様、職業奉仕委員長品田宗久様より 地区職業奉仕セミナー開催のご案内



11月29日(日)於;キッセイ文化ホール

出席者;会長幹事、職業奉仕委員長、委員、入会して間もない会員他

★通信物=①RIより End Polio

②第27回軽井沢町社会福祉大会開催 12月6日

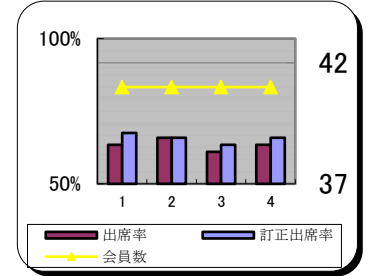
③2021RI年次大会(台北)参加募集案内

④RIよりロータリー財団月間リソースのご案内

★クラブ会報=上田西RC★恵送物=上田西RC創立30周年記念誌

《出席委員会》 依田龍治君

	会員数	本日出席	メイク	合計	出席率	訂正出席率
11月9日	41	26	事前メイク1	27	63.41%	65.85%



ニコニコBOX報告

中沢雅子君

★ガバナーを歓迎して…遠藤孝君、佐藤学君、尾沼好博君、柳沢洋一君
 佐藤敏明君、金山城太郎君、古越道夫君、袖山卓也君、佐藤好雄君
 佐藤一郎君、西川眞司君、横山繁君、長岡秀秋君、中野忠昭君
 甲田正昭君、干川慎一郎君、中沢雅子君



11月9日
¥17,000



《ガバナー公式訪問》

国際ロータリー第2600地区 2020-21年度ガバナー 成田守夫様



ガバナー公式訪問は、ガバナー自身が2600地区内の各ロータリークラブを、個々のクラブまたは複数のクラブのグループとして、以下のような目的を持って訪問するものである。

- ・ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
- ・弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに特別な関心を払う。
- ・奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる。
- ・クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規定を順守していることを確認する。
- ・顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自らが表彰する。

ガバナーあるいはガバナー補佐は、公式訪問の際にクラブ目標への進展状態を確認すべきである。

訪問はガバナー出席の効果が最も高まるよう、加盟認証状伝達式、入会式、新会員オリエンテーション、プログラム、表彰式、特別プログラム、ロータリー財団行事、都市連合会会合においては、ホストクラブに限らず、全参加クラブを挙げての出席を強調すべきである。

ガバナーはまた、地区がクラブをより効果的に支援する方法について、クラブからの意見を求めるべきである。と、ロータリー情報ハンドブックにあります。

私が公式訪問でお伝えしたい点は次の項目です。

- ロータリーの本質と使命の確認をし、計画と実行。
 - ・日本のロータリー100年は、奉仕活動のリーダーとしての歴史である。
 - それ故、地域社会にとってなくてはならない存在。
 - ・ロータリアンの提言、実行、実現、信用、ネットワークの活用で自ら行動する。

- 信州の産業と人材育成の輝きをロータリーから。
 - ・ロータリーメンバーの結束力、業界力、地域力を活用。
 - ・10年後の子供達のために帰る事のできる地域(ふるさと)づくり。

- 自慢のクラブ、そして地域社会から学び、未来を創り、伝える。
 - ・自クラブの良さ、優位性を再発見し語り合う。
 - ・楽しい、心地良い、行ってみたいから、応援に行きたいまちへ。

- あなたの街、そして地域の魅力を語って下さい。
 - ・2600地区の自然環境、そしてアクセスの優位性を見え、見せる工夫で魅力UPへ。
 - ・城跡公園、蚕都、ロケ地、アニメ、スポーツ、食、高等教育機関の集中等。



私達地域のロータリー活動は、世界に広がるネットワークとなって、文化間、言語間、世代間、地域間に橋を渡し、より良い世界のビジョンを共有しています。

それ故に「ロータリーから信州に元気に、にする為に、力強く行動して参りましょう!!」

点鐘

*配布資料参照

~~~~~  
\*卓話のテープは事務局にございます。ご利用の方はお申し出ください。



R I 第 2600 地区 2020-2021 年度 成田守夫ガバナーをお迎えして